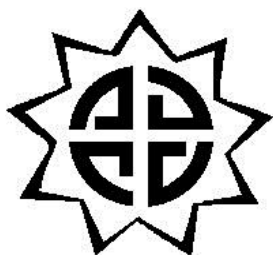


福島市統計書

平成 24 年版

福島市



市 章
(大正 13 年 6 月 4 日制定)

この章は「フ」の字を9字、「マ」の字を4字
組み合わせて図案化して「フクシマ」を表し、
福島市がますます四囲に発展しその内容に
おいて充実し、円滑に行われていることを
象徴しています。

福 島 市 民 憲 章

わたくしたちは、みどりにつつまれた信夫山と清い流れの阿武隈川をもつ
福島市民です。

福島市は、地味豊かなしのぶの里に古くから開けた人情の美しいまちです。

わたくしたちは、平和で、さらに住みよく希望にみちたまちをつくるため、
この市民憲章をさだめます。

- 1 空も水もきれいな みどりのまちをつくりましょう。
- 1 教育と文化を尊び 希望に輝くまちをつくりましょう。
- 1 親切で愛情あふれるまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、力をあわせて 楽しく働けるまちをつくりましょう。
- 1 子どもからおとしよりまで安全で健康なまちをつくりましょう。

(昭和 48 年 4 月 1 日制定)

は じ め に

平成 24 年版福島市統計書をここに刊行いたします。

この統計書は、福島市の自然、人口、産業・経済、教育・文化、福祉など幅広い分野にわたる基本的な統計資料を収録し、市勢の現況ならびにその推移を明らかにしようとするものです。

本書が、行政をはじめ企業経営、市民生活の向上のための指標として、多くのみなさまに広くご活用いただければ幸いです。

編集にあたりましては、不備な点もあると思いますが、各方面からのご意見・ご指導をいただき、さらに内容の整備・充実を図ってまいりたいと存じます。

おわりに、本書のために貴重な資料をご提供くださいました関係各機関に対し、心から感謝いたしますとともに、今後も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 3 月

福島市長 瀬 戸 孝 則

凡 例

- 1 この統計書は、福島市の市勢全般に関する統計資料を収録したものです。
- 2 統計書の内容は、基本的に「平成19年版福島市統計書」に引き続く資料を収録しましたが、部分的に削除したり新たに追加したものもあります。
- 3 資料は、官公署、民間団体及び庁内部課からの報告によるもの、又は当課において直接調査収集したものです。なお、資料の出所については、各統計表の下部に記載し、他の統計書又は報告書などによった場合は、その書名を掲げました。
- 4 数字の単位は、各表の上部左端又は表中に注記しましたが、一見して明らかなのは省略してあります。
- 5 資料の時点、時期については、原則として各表の上部右端に注記しましたが、本表中の年次、年度、年月日は次のとおりです。
 - 「年次」……暦年(1月から12月まで)
 - 「年度」……会計年度(4月から翌年3月まで)
 - 「年月日」……記載期日を現在とする
- 6 表中の符号の用法、単位の表記は次のとおりです。
 - 「0」・「0.0」……単位未満のもの
 - 「—」……該当数字のないもの
 - 「…」……資料なし及び不詳のもの
 - 「X」……秘密保護上、該当数字の公表をさし控えたもの
 - 「△」……マイナスのもの
 - 「m³」……立方メートル
 - 「ℓ」……リットル
- 7 構成比については、その1ケタ下位で四捨五入しているなどの理由で、内訳を足し上げても必ずしも計に一致しない場合もあります。
- 8 統計データには、調査票の未記入や誤記入、記入内容の分類が不可能である場合、「不詳」として取り扱うものが存在します。「不詳」を表章しない場合、すべての項目を足しあげたものと、「総数」の差が不詳の値となります。
- 9 本書の内容についての疑義又は詳細は、各資料の出所機関又は本市総務課に照会してください。

総目次

福島市史年表	1
福島市略図	9
統計表	
1 土地・気象	10
2 人口	16
3 事業所	160
4 農林業	182
5 製造業	208
6 商業	218
7 市民所得	234
8 建設・住宅	242
9 電気・ガス・水道	260
10 運輸・通信	266
11 金融	274
12 物価・消費生活	278
13 教育・文化	296
14 社会福祉・労働	316
15 保健・衛生	332
16 司法・治安・災害	338
17 行政・財政	354

目 次

福島市史年表	1	11-18	延べ面積（14区分）、住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む一般世帯数及び一般世帯人員	103
福島市略図	9	11-19	労働力状態（8区分）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上人口	105
（統計表）		11-20	産業（大分類）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数及び平均年齢	107
1 土地・気象	10	11-21	地区、産業（大分類）、男女別15歳以上就業者数	109
1 福島市の位置と面積	11	11-22	町、産業（大分類）、男女別15歳以上就業者数－中央地区の内訳	129
2 市域の変遷	11	11-23	常住地又は従業地・通学地による年齢（5歳階級）、男女別人口及び15歳以上就業者数	141
3 地区・支所別面積	12	11-24	常住地による従業・通学市区町村、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数	143
4 評価地積及び決定価格	11	11-25	従業地・通学地による常住市区町村、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数	147
5 気象の概況	13	11-26	従業地による産業（大分類）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上就業者数	151
6 気象の月別平年値及び極値	13	11-27	常住地又は従業地による産業（大分類）別15歳以上就業者数	153
2 人 口	16	11-28	住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別65歳以上世帯員のいる一般世帯数、一般世帯人員、65歳以上世帯人員、1世帯当たり人員	153
7 人口及び世帯数の変遷	19	11-29	都市計画の地域区分（25区分）、男女別人口並びに世帯の種類（2区分）別世帯数及び世帯人員	154
8 地区別世帯数及び人口	21	11-30	世帯の家族類型（16区分）別65歳以上世帯員のいる一般世帯数、一般世帯人員及び65歳以上世帯人員	155
9 人口動態	23	11-31	世帯人員（7区分）、住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む65歳以上世帯員のいる一般世帯数	155
10 戸籍人口及び住民基本台帳人口	24	11-32	年齢（5歳階級）、男女別高齢単身者数	155
11 国勢調査	25	11-33	夫の年齢（5歳階級）、妻の年齢（5歳階級）別高齢夫婦世帯数	156
11- 1 地区別世帯数及び人口	27	11-34	母子世帯数、父子世帯数、高齢単身世帯数及び高齢夫婦世帯数	156
11- 2 町別世帯数及び人口－中央地区の内訳	29	11-35	年齢3区分別人口の推移	157
11- 3 年齢（各歳）、男女別人口	30	11-36	65歳以上人口の推移	157
11- 4 年齢（5歳階級）、地区、男女別人口	31	11-37	産業3部門別15歳以上就業者数の推移	157
11- 5 年齢（5歳階級）、町、男女別人口－中央地区の内訳	63	11-38	人口集中地区の人口、面積及び人口密度	157
11- 6 配偶関係（4区分）、年齢（5歳階級）、男女別15歳以上人口	75	11-39	人口集中地区境界図	158
11- 7 世帯人員（10区分）別一般世帯数、一般世帯人員及び1世帯当たり人員	76	3 事 業 所		160
11- 8 施設等の世帯の種類（6区分）、世帯人員（4区分）別施設等の世帯数及び世帯人員	76	12	産業（大分類）、経営組織（2区分）、従業者規模（6区分）別全事業所数及び男女別従業者数	163
11- 9 世帯の家族類型（16区分）別一般世帯数、一般世帯人員（6歳未満・18歳未満・65歳以上・75歳以上世帯員のいる一般世帯及び3世代世帯－特掲）	75	13	産業3部門別事業所数及び従業者数の推移	163
11-10 地区、世帯の種類（2区分）、世帯人員（7区分）別世帯数及び世帯人員	77	14	産業（中分類）、従業者規模（10区分）別民営事業所数及び男女別従業者数	165
11-11 町、世帯の種類（2区分）、世帯人員（7区分）別世帯数及び世帯人員－中央地区の内訳	85	15	地区、産業（大分類）別事業所数及び従業者数	173
11-12 住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別一般世帯数、一般世帯人員、1世帯当たり人員	89	16	地区別、従業者規模別事業所数及び従業者数	177
11-13 住宅の建て方（7区分）、住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む一般世帯数及び一般世帯人員（世帯が住んでいる階－特掲）	90			
11-14 世帯の家族類型（16区分）、住宅の所有の関係（5区分）別住宅に住む一般世帯数及び一般世帯人員	89			
11-15 地区、住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別一般世帯数、一般世帯人員	91			
11-16 町、住居の種類・住宅の所有の関係（6区分）別一般世帯数、一般世帯人員－中央地区の内訳	99			
11-17 住宅の建て方（8区分）別住宅に住む主世帯数、主世帯人員、1世帯当たり人員（世帯が住んでいる階－特掲）	103			

4 農 林 業	182	31	木造家屋に関する調	254
17 農林業センサス	185	32	木造以外の家屋に関する調1	255
17- 1 地区別専業・兼業別農家数及び 経営耕地面積規模別農家数	185	33	木造以外の家屋に関する調2 (平成24年度の内訳)	256
17- 2 地区, 過去1年間の生活の主な状態, 男女別世帯員数－販売農家	187	34	建築確認申請状況1	257
17- 3 地区別経営耕地面積	189	35	建築確認申請状況2	257
17- 4 地区, 農産物販売金額規模別農家数 －販売農家	193	36	市営住宅数	257
17- 5 地区, 年齢, 男女別農業就業人口 (自営農業に主として従事した世帯員数) －販売農家	195	37	河川の状況(1級河川・準用河川)	259
17- 6 地区, 農産物販売金額1位の部門別農家数 －販売農家	197	9 電気・ガス・水道	260	
17- 7 地区別果樹栽培農家数－販売農家	199	38	発電所別発電電力量	261
17- 8 地区別家畜飼養農家数, 頭羽数 －販売農家	201	39	変電所の状況	262
17- 9 保有山林の状況 (3ha以上の林業経営体)	203	40	使用電力量	261
18 地区, 保有形態別森林面積	203	41	ガス供給施設状況	261
19 農地転用	205	42	ガス供給戸数及び需給状況	261
19- 1 農地法の規定による転用	205	43	上水道普及状況	263
19- 2 地区別農地法の規定による転用(平成23年度)	205	44	配水量及び給水量	263
5 製 造 業	208	45	配水管口径別延長	263
20 産業分類別総括表(従業者4人以上の事業所)	211	46	公共下水道整備状況	263
21 地区別総括表(従業者4人以上の事業所)	213	10 運輸・通信	266	
22 産業分類, 地区別事業所数, 従業者数 及び製造品出荷額等(従業者4人以上の 事業所)	215	47	駅別乗車人員数 (東日本旅客鉄道株式会社分)	267
6 商 業	218	48	品目別貨物輸送状況 (日本貨物鉄道株式会社分)	267
23 卸売・小売業	221	49	駅別乗車及び降車人員数 (阿武隈急行株式会社分)	267
23- 1 産業分類別総括表(卸売・小売業)	221	50	私営電車乗客等の状況(飯坂線)	269
23- 2 地区別総括表(卸売・小売業)	223	51	私営バス乗客等の状況	269
23- 3 町別総括表(卸売・小売業)－中央地区の内訳	225	52	東北縦貫自動車道	270
23- 4 地区, 産業分類別事業所数(卸売・小売業)	227	52- 1	東北縦貫自動車道利用状況	270
23- 5 町, 産業分類別事業所数(卸売・小売業) －中央地区の内訳	229	52- 2	東北縦貫自動車道区間別交通量の推移	271
23- 6 地区, 産業分類別事業所数, 従業者数, 年間商品販売額, その他の収入額 (卸売・小売業)	231	53	用途, 車種別自動車登録台数	271
23- 7 町, 産業分類別事業所数, 従業者数, 年間商品販売額, その他の収入額 (卸売・小売業)－中央地区の内訳	232	54	原動機付自転車等台数	273
7 市民所得	234	55	郵便局状況	273
24 市内総生産	237	56	運転免許保有者数	273
25 市民所得	239	57	旅券(パスポート)申請状況	273
26 市民家計所得	239	11 金 融	274	
27 関連指標	239	58	福島市中小企業融資状況	275
8 建設・住宅	242	59	手形交換高及び不渡手形発生状況	275
28 国・県道状況	243	60	郵便貯金預金状況	276
29 市道状況	247	61	銀行店舗数及び預金・貸付金残高	276
30 都市計画	249	62	信用保証状況	276
30- 1 都市計画区域等	249	63	業種別倒産件数及び負債額	276
30- 2 地区別市街化区域の用途別面積	249	12 物価・消費生活	278	
30- 3 都市公園数及び面積	249	64	消費者物価指数	281
30- 4 都市公園一覧	251	65	主な品目の小売価格	285
		66	1世帯当たり1ヶ月間の消費支出 (二人以上の世帯)	287
		67	1世帯当たり1ヶ月間の収入と支出 (二人以上の世帯のうち勤労者世帯)	291
		68	中央卸売市場	295
		68- 1	青果物取扱状況	295
		68- 2	水産物取扱状況	295
		68- 3	花き部取扱状況	295

13 教育・文化	296	92- 4 旧法年金給付状況	319
69 幼稚園	299	93 介護保険	321
69- 1 設置者別園数、組数、園児数及び教職員数	299	93- 1 要介護（要支援）認定者の状況	321
69- 2 設置者別園数、組数、教員数及び園児数	299	93- 2 居宅介護（支援）サービス受給者の状況	321
70 小学校	299	93- 3 地域密着型（介護予防）サービス受給者の状況	321
70- 1 設置者別学校数、学級数、児童数及び教職員数	299	93- 4 施設介護サービス受給者の状況	321
70- 2 設置者別学校数、学級数、教員数及び児童数	299	93- 5 保険給付の状況	321
71 中学校	301	94 市民交通災害共済加入状況及び給付件数	323
71- 1 設置者別学校数、学級数、生徒数及び教職員数	301	95 児童福祉	323
71- 2 設置者別学校数、学級数、教員数及び生徒数	301	95- 1 児童問題の受付経路別処理件数	323
71- 3 進路別卒業生数（中学校）	301	95- 2 児童問題の処理件数	323
72 高等学校	301	95- 3 保育所在籍児童数及び職員数	323
72- 1 学校数、生徒数及び教職員数	301	95- 4 母子生活支援施設設置状況（福島敬香ハイム）	323
72- 2 進路別卒業生数（高等学校）	302	95- 5 肢体不自由児通園療育センター利用状況	324
73 特別支援学校学校別学級数、児童生徒数及び教職員数	303	95- 6 児童センター利用状況	325
74 専修・各種学校	303	95- 7 保育所別入所状況	326
74- 1 専修学校設置者、修業課程別生徒数及び教職員数	303	96 老人福祉	327
74- 2 各種学校設置者別生徒数及び教職員数	304	96- 1 養護老人ホーム入所委託状況	327
75 市立図書館	303	96- 2 養護老人ホーム施設措置費支弁状況	327
75- 1 図書分類別蔵書冊数	303	96- 3 地区別老人クラブ数	327
75- 2 利用者別閲覧人員	303	97 心身障害者福祉	328
75- 3 図書分類別利用冊数	305	97- 1 身体障害者手帳交付状況	328
76 県立図書館	305	97- 2 療育手帳交付状況	328
76- 1 図書分類別蔵書冊数	305	97- 3 身体障害者福祉費支出状況	328
76- 2 図書分類別館外個人貸出利用冊数	305	97- 4 施設入所支援利用状況	329
76- 3 館外個人貸出利用者数	305	97- 5 療養介護利用状況	329
76- 4 館外奉仕（団体貸出・資料譲与・移動図書館）利用状況	306	97- 6 知的障害者相談取扱状況	330
77 学習センター利用状況	307	97- 7 精神障害者保健福祉手帳所持者数	330
78 市民会館等施設利用状況	307	97- 8 自立支援医療（精神通院公費）利用者数	330
79 労働福祉施設利用状況	308	98 被保護世帯、人員及び生活保護費扶助別状況	329
80 その他の施設利用状況	307	99 生活保護の申請、開始、廃止及び生活相談状況	329
81 学校体育施設利用状況	309	100 民生委員数等	330
82 市指定文化財	310	101 シルバー人材センター業務取扱状況	329
83 国・県指定文化財（認定を含む）	310	102 職業紹介状況	331
84 街頭補導実施状況	310	103 産業分類別求人・充足状況	331
85 体育施設利用状況	311	15 保健・衛生	332
86 小・中学生の平均体位	312	104 医療関係施設数及び病床数	333
87 観光入込客数	313	105 医療関係者数	334
88 有料道路利用状況	313	106 主要死因別死亡者数	333
89 福島競馬場入場人員及び発売金額等	313	107 夜間急病診療所利用状況	333
14 社会福祉・労働	316	108 休日救急歯科診療所利用状況	334
90 国民健康保険	317	109 一般住民結核健康診断状況	333
90- 1 国民健康保険被保険者及び若人分医療費状況（診療費）	317	110 予防接種状況	334
90- 2 国民健康保険税の賦課割合及び税率	317	111 各種検診状況	333
91 後期高齢者医療	319	112 ごみ収集状況	335
91- 1 後期高齢者医療被保険者及び医療費状況（診療費）	319	113 し尿処理状況	335
91- 2 後期高齢者医療保険料	319	114 市営葬祭用具利用状況	336
92 国民年金	319	115 河川水質測定結果	335
92- 1 国民年金被保険者数	319	116 大気汚染測定結果	337
92- 2 福祉年金給付状況	320	16 司法・治安・災害	338
92- 3 基礎年金給付状況	319	117 福島地方裁判所処理状況	339
		117- 1 刑事事件	339
		117- 2 民事・行政事件	339
		117- 3 民事調停事件	339
		118 福島簡易裁判所処理状況	340
		118- 1 刑事事件	340
		118- 2 民事事件	340
		118- 3 民事調停事件	340

119	福島家庭裁判所処理状況	341
119- 1	家事審判事件	341
119- 2	家事調停事件	342
119- 3	家事手続案内	341
119- 4	少年保護事件	341
120	交通事故発生件数及び死傷者数	343
121	ぐ犯・不良行為少年補導状況	343
122	時間別交通事故発生状況	345
123	刑法犯罪発生件数及び検挙数	345
124	消防施設等状況	345
125	消防職団員数	345
126	救急出動状況	346
127	火災発生件数、焼損面積及び損害状況	347
128	時間別火災発生件数	347
129	原因別火災発生件数	347
130	震度1以上が観測された地震の回数	349
131	震度4以上の地震の状況	349
参考	昭和元年以降	
	震度1以上が観測された地震の回数	350
	震度4以上の地震の状況	352

17 行政・財政	354	
132	歴代市長	355
133	歴代助役（平成19年4月1日より副市長）	355
134	歴代収入役	355
135	歴代市議会議長	356
136	歴代市議会副議長	356
137	市職員数	357
138	議会日数及び提出議案数	359
139	議案処理状況	359
140	常任委員会請願・陳情付託件数及び処理状況	359
141	市民相談受付件数	359
142	公害苦情件数	359
143	投票区別選挙人名簿登録者数	361
144	選挙別投票状況（平成20年度より）	361
145	一般会計予算額及び決算額	363
146	特別会計、企業会計の予算額及び決算額	365
147	市税の税目別決算額	367
148	納税貯蓄組合数及び組合員数	367
149	納税者1人当たり平均課税額	368
150	納税貯蓄組合の収納状況	369
151	納税義務者等に関する状況	369
152	市税減免状況	369

福 島 市 史 年 表

年号	西暦	おもなできごと
明治40年4月	1907	福島市市制施行（戸数5,251戸、人口31,835人、面積8.82km ² ）
6月		第1回福島市議会召集
7月		初代市長二宮哲三就任
41年4月	1908	軽便蒸気軌道が敷かれる（福島・長岡・飯坂間）
		奥羽六県連合共進会開催
10月		松木町に市立図書館開館
44年	1911	市内繁華街にガス灯が点灯
6月		日本銀行福島出張所が福島支店に昇格
大正4年9月	1915	十綱橋（鉄橋）竣工
6年5月	1917	松木町に市公会堂新設
7月		福島商工会議所開設
7年6月	1918	福島競馬場完成、第1回福島競馬開催
8月		福島市に米騒動おこる
9年	1920	市内各所に市営住宅建設開始
9月		渡利に市営火葬場設置
14年3月	1925	福島市上水道（弁天山浄水場）竣工
5月		松齢橋（鉄橋）竣工
9月		2代市長小杉善助就任
15年4月	1926	軽便が電車になる（福島・長岡・飯坂間）
昭和2年10月	1927	本町に福島ビルヂング（福ビル）落成
4年3月	1929	3代市長佐藤沢就任
		市立図書館廃館
6月		初の普通選挙法による市議会議員選挙
5年12月	1930	八木田橋（鉄筋支柱）竣工
6年4月	1931	市制施行25周年記念事業として敬老会を始める
7年4月	1932	松川橋竣工
12月		信夫橋竣工
12年7月	1937	信夫郡野田村の一部を編入
9月		文知摺橋竣工
13年6月	1938	市内バス運転開始
14年4月	1939	福島市警防団発足
16年2月	1941	NHK福島放送局が開局
20年4月	1945	4代市長釘本衛雄就任
7月		渡利村に爆弾投下、少年1人死亡
9月		福島市に米軍進駐
21年1月	1946	信夫山暁参り大わらじ奉納復活
22年2月	1947	信夫郡渡利村、杉妻村を合併
3月		信夫郡清水村、岡山村、鎌田村、瀬上町を合併、吉井田村の一部を編入
4月		福島市長選挙、改正普選法（婦人参政）により施行
		5代市長佐藤元治就任
24年8月	1949	松川事件おこる
		福島夏祭り（七夕祭、花火大会）開始
25年4月	1950	「市政たより」第1号発行
6月		福島消防本部、消防署発足
26年4月	1951	福島さくら祭り始まる
27年4月	1952	市役所旧庁舎落成
10月		第7回国民体育大会が福島で開催

年号	西暦	おもなできごと
昭和28年8月	1953	民間放送・ラジオ福島が開局
29年3月	1954	信夫郡余目村を合併
30年3月	1955	信夫郡笹谷村、大笹生村、吉井田村、荒井村、土湯村を合併、伊達郡霊山町の一部（大波）を編入
5月		6代市長林谷主計就任
7月		伊達郡立子山村を合併
31年9月	1956	信夫郡佐倉村を合併 児童公園開設
10月		第1回市民体育祭開催
32年4月	1957	市制施行50周年記念式典挙行
7月		信夫郡吾妻村の一部（野田）を編入
34年2月	1959	公会堂、中央公民館竣工
5月		7代市長佐藤実就任
11月		磐梯吾妻スカイライン開通
35年4月	1960	東北本線上野・福島間電化
37年2月	1962	堀河町に し尿処理場竣工
12月		福島ステーションビル落成
38年4月	1963	民間放送テレビ・福島テレビが開局
39年1月	1964	信夫郡飯坂町を合併
9月		市庁舎増築落成 天神橋竣工
40年8月	1965	吉井田じん荼焼却場設置
41年1月	1966	北町バイパス開通
5月		新栗子トンネル開通
6月		信夫郡松川町、信夫村を合併
9月		新十綱橋開通
42年8月	1967	森合町に肢体不自由児通園訓練センター設置
9月		「第1回市民美術展」を開催
43年4月	1968	北福島地区農免道路開通
10月		信夫郡吾妻町を合併（福島市22万都市となる）
45年3月	1970	仁井田に恵風園落成
4月		新浜公園開園 国道13号信夫山トンネル開通
8月		わらじまつり始まる
46年3月	1971	福島駅前（栄町）地区基本計画策定 森合に庭球場完成
4月		路面電車廃止
5月		8代市長佐藤達也就任
11月		下水道終末処理場処理開始
12月		市民福祉会館（現在の市民会館）落成
47年6月	1972	新町に少年センター落成
10月		北矢野目に福島市中央卸売市場開場
12月		児童文化センター落成
48年1月	1973	鎌田大橋竣工
3月		阿武隈川サイクリングロード完成
4月		市民憲章制定 中央幹線あづま陸橋開通

年号	西暦	おもなできごと
昭和48年	1973	5月 肢体不自由児通園療育センター落成 9月 駅前再開発第1弾辰巳屋ビル完成 11月 駅前再開発第2弾平和ビル完成 大仏橋竣工
49年	1974	7月 森合市民プール竣工 10月 福島卸商団地完成 大町地下歩道開通
50年	1975	3月 東北縦貫自動車道開通 4月 国道13号信夫山トンネル複線開通 7月 夜間急病診療所開設 10月 蓬萊支所・蓬萊公民館落成
51年	1976	8月 信夫山羽黒神社焼失 11月 あづま陸橋下に自転車専用駐車場オープン 12月 摺上川ダム予備調査開始
52年	1977	3月 駅前地下歩道開通 7月 移動図書館車「しのぶ号」スタート あらかわ清掃工場落成 10月 吾妻連峰一切経山の火山活動活発化
53年	1978	2月 日銀前レンガ通り開通 5月 老人福祉センター落成 6月 宮城県沖地震発生（福島市震度5） 第1回市民マラソン大会開催 8月 53福島インターハイ開催
54年	1979	4月 市役所分庁舎開庁 名誉市民に古関裕而氏を推戴 福島大学教育学部が松川町に移転（昭和56年5月経済学部も松川町へ） 5月 9代市長河原田穰就任 8月 三本木橋竣工 武道館落成 12月 文知摺橋竣工
55年	1980	7月 福島市斎場落成 8月 8月真夏日ゼロで75年ぶりの大冷夏 12月 大雪で果樹など被害額13億円を越す
56年	1981	5月 福島駅東西連絡自由通路開通 上蓬萊橋竣工 6月 異常低温続き庭坂、庭塚地区に降ヒョウ、果樹被害1億2千万円 8月 台風15号本市を直撃、農作物被害16億8千万円、公共施設損壊2億1千万円
57年	1982	6月 家族旅行村「吾妻高原スカイランド」オープン 大宮駅暫定始発で「東北新幹線」開業 8月 福島市民家園オープン 粗大ゴミ収集スタート
58年	1983	7月 英語指導主事助手制度が発足 11月 福島市小鳥の森開園 福島南バイパス全線開通 12月 民間放送テレビ・テレビユー福島が開局
59年	1984	3月 福島工業団地で誘致企業第1号操業開始 4月 福島市振興公社発足 福島ホールの一部（働く婦人の家、勤労青少年ホーム）オープン

年号	西暦	おもなできごと
昭和59年 4月	1984	西支所・公民館が合築オープン
7月		福島市音楽堂オープン
9月		県立美術館・図書館落成 昭和天皇・皇后両陛下本市を行幸啓 昭和天皇陛下「小鳥の森」ご視察
10月		東部支所オープン
60年 3月	1985	本市が「テレトピア構想モデル都市」として指定を受ける 東北新幹線、上野駅と直結
4月		福島市立図書館オープン
10月		サンスカイ土湯完成
12月		10代市長吉田修一就任
61年 8月	1986	台風10号くずれの集中豪雨により市内各所に被害 住家全壊3棟、床上浸水家屋1,171棟、公共施設など被害総額25億円を越す
62年 3月	1987	福島市の鳥「シジュウカラ」制定
6月		福島市中央市民プール竣工
7月		市制施行80周年記念式典挙行
9月		八木田橋竣工
10月		住民情報オンラインシステムがスタート
63年 2月	1988	あぶくまクリーンセンター落成
3月		国道115号方木田バイパス開通
4月		あづま橋開通
6月		新駅ビル「福島ルミネ」オープン
7月		阿武隈急行線全線開業
9月		北福島幹線開通
10月		市民ギャラリーオープン
11月		古関裕而記念館オープン
平成元年 3月	1989	コミュニティ道路（バセオ470）が全面完成 市の木・ケヤキ、市の花・モモに一本化
5月		クレー射撃場オープン
7月		福島勤労者体育センターオープン 社会教育館「こぶし荘」の改築完了
9月		国道115号土湯トンネル開通
11月		新摺上橋竣工
2年 3月	1990	信夫支所・公民館合築オープン J R 福島駅西口駅前広場完成
4月		J R 福島駅東口に立体自転車駐車場オープン
5月		福島市南体育館完成
3年 1月	1991	茂庭出張所・多目的集会所落成
3月		蓬萊橋が竣工 飯坂バイパス（国道399号）開通 福島消防署信夫分署完成
4月		ヘルシーランド福島落成
8月		浄土平ビジターセンター落成
11月		第1回古関裕而記念音楽祭開催
12月		J R 福島駅東口駅前広場完成
4年 3月	1992	国道13号信夫山新歩道トンネル開通
4月		飯坂温泉観光会館（パルセいいざか）落成

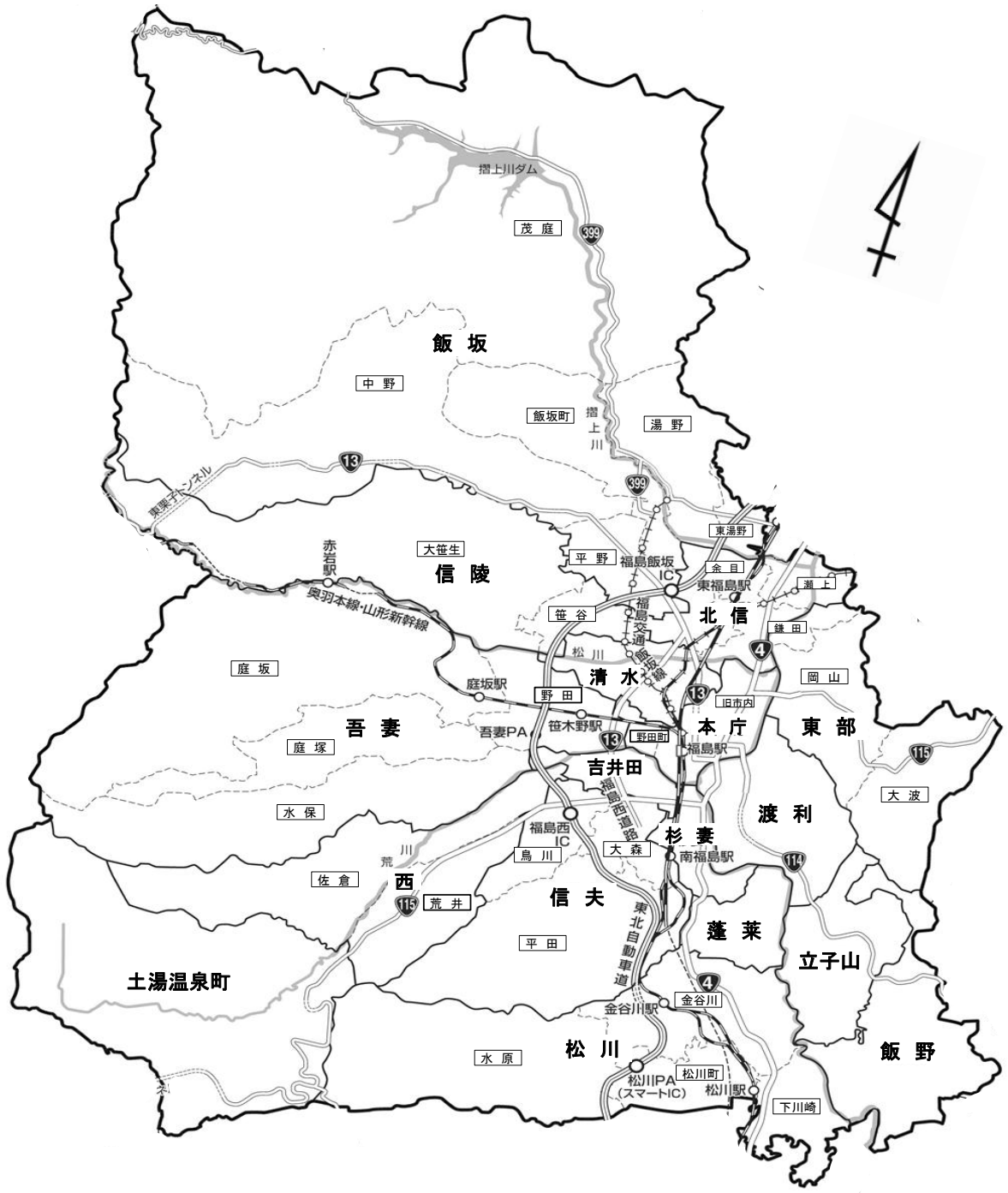
年号	西暦	おもなできごと
平成5年4月	1993	北信支所・公民館合築オープン 立子山自然の家オープン 福島市を含む県北17市町村が「地方拠点都市法」の第2次指定地域に指定
5月		十六沼公園竣工
9月		福島市長寿社会憲章制定
10月		浄土平天文台落成 蓬萊学習センター落成 西部環状道路の西大橋（2車線）開通
6年2月	1994	冷夏により戦後最大規模の農作物被害52億7千万円 市内8農協が合併し新ふくしま農業協同組合発足
5月		東部勤労者研修センター落成 国体記念体育館落成
6月		ごみ袋透明化を開始 あづま公園橋竣工
7月		福島市スポーツ振興公社発足 信陵支所・公民館合築オープン
10月		民家園に「広瀬座」完成 初の阿武隈川サミットを福島市で開催
11月		福島地方広域行政事務組合設立
7年3月	1995	国道115号荒井バイパス開通
5月		東部学校給食センターオープン
6月		福島テルサオープン
7月		渡利支所改築落成 吉井田支所・公民館合築オープン 「四季の里」オープン
9月		第50回国民体育大会「ふくしま国体」夏季大会（水球）開催 土湯温泉町支所改築オープン 上八木田橋開通
10月		民間放送FMふくしま開局 第50回国民体育大会「ふくしま国体」秋季大会総合開・閉会式をはじめ4競技（陸上競技、バレーボール、ソフトボール、センターファイア・ピストル）を開催 第31回全国身体障害者スポーツ大会「うつくしまふくしま大会」開催
8年3月	1996	国道114号バイパスの渡利大橋全面開通（4車線）
8月		福島コミュニティ放送エフエム・ポコ開局
9年4月	1997	体育施設オンライン「スポーツふくしまネット」が稼働 清水学習センター落成
6月		資源物の分別収集を開始
7月		市制施行90周年記念式典挙行
8月		杉妻支所が改築オープン
11月		市ホームページ開設
10年3月	1998	福島西道路一部開通
4月		ふくしまスカイパーク開場
5月		西部勤労者研修センター落成
8月		集中豪雨により市内各所に被害。家屋半壊5棟、床上浸水5棟、床下浸水97棟。 公共施設など被害総額7億円
9月	1998	台風5号による豪雨で荒川の右岸が破堤。床上浸水7棟・床下浸水23棟。被害総額1億円。 市中心市街地活性化基本計画策定

年号	西暦	おもなできごと
平成10年9月	1998	台風7号による風害で農作物被害6億8千万円
10月		保健福祉センターオープン
11年4月	1999	吾妻支所・学習センターオープン
		リサイクルプラザオープン
9月		レンタサイクルスタート
12月		もにわの湯落成
12年4月	2000	総合防災情報システム稼働
6月		福島市総合計画ふくしまヒューマンプラン21基本構想策定
9月		「平成の大改修」荒川地区竣工
13年4月	2001	平和通り地下駐車場供用開始
		立子山支所オープン
8月		「うつくしま未来博」福島市展示
12月		11代市長瀬戸孝則就任
14年4月	2002	第1回福島わいわい夢会議開催
7月		台風6号・7号による大雨で市内各所に被害。床上浸水47棟・床下浸水25棟。 公共施設など被害額約11億円
		京浜・九州地区トップセールス
10月		うつくしまねりんピック2002開催
11月		板倉家福島藩主300年記念 福島城下大名行列
12月		福島市協働のまちづくり推進指針策定
15年4月	2003	写真美術館（花の写真館）オープン
		高湯温泉「あったか湯」落成
		わいわい夢果樹園オープン
5月		クレー射撃場落成
6月		すりかみ浄水場落成
7月		西口行政サービスコーナーオープン
		福島駅西口複合施設「コラッセふくしま」落成
		男女共同参画センター「ウイズ・もとまち」、東口行政サービスコーナーオープン
		冷害による農作物被害39億7千万円
8月		宮畑遺跡の国史跡指定
16年1月	2004	国道114号渡利バイパス開通
2月		摺上川ダム湛水開始
3月		市議会本会議一問一答式導入
4月		借上り営住宅第1号となる曾根田町団地入居開始
6月		福島市ポイ捨てのない美しいまちづくり条例施行
11月		福島市消費生活センターオープン
		福島市協働のまちづくり市民電子会議室「e-ネットふくしま」開始
17年2月	2005	飯坂支所・学習センターオープン
4月		福島市安全で安心なまちづくり条例施行
7月		子どもの夢を育む施設「こむこむ」オープン
8月		宮城県沖地震（福島市震度5弱）
9月		摺上川ダム竣工
12月		国道115号土湯バイパス全線開通
18年2月	2006	十六沼公園にサッカー場オープン
		福島市総合計画ふくしまヒューマンプラン21・後期基本計画（平成18年～22年度）策定
4月		市の施設の管理運営に「指定管理者制度」を導入
		福島市・荒川区との「災害時における相互応援に関する協定」調印

年号	西暦	おもなできごと
平成18年 7月	2006	福島市民の消費生活を守る条例施行
9月		茂庭ふるさと館オープン
10月		福島松川スマート I C 正式運用
19年 3月	2007	渡利浄水場廃止
4月		市制施行100周年記念事業 オープニングイベント 摺上川ダム水本格受水記念式典
5月		広瀬・梨平公園完成
7月		市制施行100周年記念式典挙行政
11月		古関裕而記念音楽祭 I N川崎開催
20年 4月	2008	わいわい市民農園・多目的広場オープン
7月		伊達郡飯野町を合併
9月		あらかわクリーンセンター焼却工場落成
10月		福島市・相馬市・二本松市・伊達市「ふくしま観光圏」認定 十六沼公園にスケートボードパークオープン
11月		第1回市民文化祭開始
21年 3月	2009	都市計画道路小倉寺・大森線（市施行分）開通
6月		市内13事業所でレジ袋無料配布中止スタート
7月		観光案内所および認定観光圏案内所開所
8月		福島駅東口古関裕而モニュメント除幕 古関裕而生誕100年記念第19回古関裕而記念音楽祭開催
22年 3月	2010	都市計画道路小倉寺・大森線、国道13号福島西道路4車線開通
4月		多目的休憩施設「吾妻の駅こころ」オープン
5月		旧堀切邸オープン
7月		旧佐久間邸オープン
11月		A・O・Zオープン
23年 1月	2011	共同浴場「波来湯」オープン
		市役所新庁舎東棟開庁
2月		福島市総合計画基本計画策定
3月		東日本大震災（福島市震度6弱）
4月		旧米沢藩米蔵オープン 栄町置賜町線・矢剣町渡利線開通
6月		上岡遺跡出土土偶 国重要文化財指定
7月		「東北大学福島原発事故対策本部福島市分室」開設
9月		福島市ふるさと除染計画策定 台風15号大雨・洪水により市内各地に被害
11月		放射線モニタリングセンター開所
24年 2月	2012	福島市復興計画策定
6月		暴力団排除条例施行



福島市略図



----- 地区
 _____ 市境